



ピティナ・ピアノ曲事典 公開録音コンサート2013

入場料：後払い方式



平井 千絵 (Pf.)

61 鍵の世界
～躍るフォルテピアノ～

11.9 (土) 14:00 開演 (13:30 開場)
東音ホール (東京・巢鴨)

<プログラム>

ベートーヴェン Beethoven
創作主題による 6 つの変奏曲 へ長調 Op.34
6 Variationen op.34

ハイドン Haydn
アンダンテと変奏曲 へ短調
Andante con Variationen f-moll

デュシーク Dussek
フランス王妃の受難
The sufferings of the Queen of France

ベートーヴェン Beethoven
ピアノ・ソナタ 第 5 番 八短調 Op.10-1
Sonate für Klavier Nr.5 c-moll Op.10-1

【ご予約方法】

◎ FAX 申込

裏面の FAX 申込用紙に必要事項を記入の上、当協会までお送りください。

◎ TEL 申込：03-3944-1583 (担当：実方・上杉)

◎ウェブ申込

www.piano.or.jp/concert/public より、公演名をお選び頂き、必要事項をご記入下さい。

主催：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ) 後援：一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

2013 年度の公開録音コンサートは、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団の助成を受けて実施しております。Asahi アサヒグループ芸術文化財団

■演奏者プロフィール

平井千絵 (ピアノ)

フォルテピアノという、音楽史の中で重要な位置を占める楽器を演奏し、温かみのある音色で多くの作品に命を吹き込む平井千絵。桐朋学園大学ピアノ科在学中に、故小島芳子氏の演奏を通じてフォルテピアノと出会い、卒業後同氏に師事。その後、オランダのデン・ハーグ王立音楽院古楽器科へ留学し、スタンリー・ホッホランド氏に師事して修士課程を首席で卒業している。その後はオランダを拠点に国内外で演奏活動を続け、ユトレヒト古楽祭(オランダ)、バルセロナ国際古楽祭(スペイン)、ボーン国際バロック・オペラ・フェスティバル(フランス)、ハレ・ヘンデル音楽祭(ドイツ)ほか、多くのコンサートや音楽祭に出演。またオルフェオ・バロック・オーケストラをはじめ、多くのオーケストラやアンサンブルと共演し、器楽奏者や歌手とのデュオも盛んに行っている。ヨーロッパのメディアでは、「傑出したフォルテピアノの専門家」と評され、その演奏がオーケストリア放送、ラジオ・フランス、オランダ国営放送などで採り上げられた。2008年からはアムステルダム音楽院や母校であるハーグ王立音楽院で学内試験の審査員を務める。日本国内においては鈴木秀美氏(チェロ)とのデュオや室内楽演奏で脚光を浴び、ソロ・コンサートも多数。特にフォルテピアノについてのわかりやすい紹介トークを交えたプログラムが好評である。銀座・王子ホール『ぴあの部屋』というコンサート・シリーズでは、女性作曲家による作品をプログラムに並べるなど、新鮮な視点で古典派時代の音楽を紹介している。また、ピティナ・ピアノ・コンペティションの審査員を務めるなど後進の育成にも力を注いでいる。レパートリーは、18世紀に活躍したバッハ・ファミリーからハイドン、モーツァルト、そしてベートーヴェンを経て19世紀前半のシューベルトやショパンなど、「フォルテピアノの黄金期」と言える古典派〜前期ロマン派時代の作品。加えてギタリストの鈴木大介氏(19世紀ギター)や、フランスの若手バロック・ヴァイオリニスト、ジュリアン・ショウヴァンと共演するなど、新しいレパートリーの拡大にも意欲的に取り組んでいる。鈴木秀美氏とのCD『メンデルスゾーン:チェロとピアノのための作品集』『ショパン:チェロとピアノのための作品集』(以上ソニー=BMG)は、「レコード芸術」誌や朝日新聞など多くのメディアで注目された。その後も唐澤まゆこ氏(ソプラノ)との『アート・オブ・マリー・アントワネット』(フォンテック)、初のソロCDであるショパンとグリンカの作品集『1840』(アコースティカ)をリリースしている。モーツァルトのピアノ・ソナタ全曲録音『Mozart Speaks』が進行中であり(フォンテック)、第1弾は「レコード芸術」特選盤に選ばれた。神奈川県出身。ピティナ演奏会員、演奏表現学会会員。



公開録音コンサートとは

ピティナ・ピアノ曲事典で聴ける音源を増やすために企画されたコンサートシリーズです。2010年から2012年までの3年間で通算50回開催を数えます。封筒をお配りし、終演後好きな金額を入れて募金箱に入れて頂く「料金後払い」方式を特徴としています。

よくある質問>

♪録音された音源はどこで聴ける?

動画配信サイトのYouTubeの「ピティナチャンネル」にアップロードして、ピアノ曲事典とリンクします。もちろん、無料で聴き頂けます。

♪どんな人が出演している?

ピティナと関わりの深い演奏家の方々です。ピティナ・ピアノコンペティション上位入賞者や、コンクールの審査やステップのアドバイザーなど、協会の事業にご尽力頂いた方へお声掛けしています。2012年以後はピティナ会員の出演を必須としています。

♪どんな曲が演奏されるのか?

演奏家に選んで頂いています。このシリーズの出演条件の一つに「プログラムの半分以上はピアノ曲事典の未登録曲を演奏すること」とありますので、珍しい作品を聴けることが多いのが、シリーズの特徴になっています。

♪「後払い方式」いくらくらい払えばよい?

演奏への感動や、企画へのご共感度合いに応じてご自由にお決めください。演奏家の長年の研鑽や、クラシック音楽の素晴らしさに思いをはせたり、あるいは「ピアノ曲事典」に音源を残そうという、演奏家の心意気を感じ、そのお気持ちを表現してくださいませ。ちなみに、最近(2012年11月~2013年2月)の公演では、平均2,403円の入場料をお入れ頂いています。

♪入場料の分配方法は?

公開録音シリーズで得られた入場料は、一定の計算方法によって演奏家とピティナで分配します。収入が少ない場合は演奏家に全額お支払いすることもあります。通常は6~7割を演奏家にお渡ししています。残りの金額は調律費、広報費、懇親会費等の運営に充てています。なお、地方版の入場料はすべて演奏家および会場提供者にお渡ししています。各回の入場料総額はすべて公表します。



FAX申込書 (03-3944-8838)

公演名	フリガナ
平井千絵 (11/9)	氏名
席数	E-mail @ <small>※できるだけメールアドレスをお書きください</small>
	FAX. ※任意
	TEL. ※任意
席	住所〒 () ※任意